北海道浮魚ニュース

平成 29(2017)年度 4 号

2017 年 6 月 5 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページhttp://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html

◎マサバ・マイワシ漁場調査結果

サバ類は 31cm 台，マイワシは 19cm 台が主体ともに，昨年よりやや大きい

昨年よりロシア主張 200 海里内でのさけ・ます流し網漁業が禁止となり，その代替漁業として 19 トン型棒受網漁船によるサバ類・マイワシを対象とした漁業が行われることになりました（もうかる漁業創設支援事業)。このため，釧路水産試験場では 5 月下旬に調査を実施し，その結果をお知らせします。

調査期間：2017 年 5 月 29 日～6 月 2 日

調査方法：CTD による海洋観測および流し網による漁獲試験

調査海域と調査点（St.）（表 1，図 1)：北緯 41 度以北，襟裳岬以東の 3 点

１．水温分布（表 1，図 1）

各調査点の表面水温は，St.1 では 7.8℃と他の点より低く，St.3，5 は 10.6℃でした。表面水温が 10℃以上となった St.3，5 では，水深 30m をみると，St.3 で 3.9℃，St.5 で 1.8℃となっており，ごく表層での鉛直水温差が大きくなっています（表 1)。

表面水温図（図 1）をみると，2016 年は北緯 42 度以南まで表面水温が 10℃以上となっていましたが，2017 年は，東経 144～145 度 30 分の範囲では，10℃以上の範囲が北緯 41 度（St.3）までしか達しておらず，2017 年の調査海域の表面水温は昨年よりも低く推移しています。東経 146 度以東では，北緯 41 度 30 分付近（St.5）まで 10℃以上の範囲が広がっています。

２．漁獲尾数（表 1，図 1）

流し網による漁獲試験の結果，サバ類の総漁獲尾数は 448 尾（St.3：169 尾，St.5：279 尾)，マイワシは 8,778 尾（St.3：3,196 尾，St.5：5,582 尾)，サンマは St.5 の 2 尾でした。St.1 は，2016 年の同地点（St.1，表層水温 16.0℃）で浮魚類の漁獲があった点にて実施しましたが，今年は，浮魚類の漁獲がありませんでした。

３．体長組成（図 2，3）

サバ類の尾叉長は，28～34cm が多く，地点間で比較すると St5 のほうが St.3 よりも大きい傾向が見られました。昨年と比較すると，モードが約 2cm 大きく 30cm を超える個体の割合も高くなりました。

マイワシの体長は,18～20cm が多く,St5 では体長 20cm を超える個体の割合が高くなりました。昨年と比較すると，モードが約 2cm 大きくなり，体長 15cm 以下の個体はほとんど見られませんでした。

表 1　2017 年サバ類・マイワシ漁場調査の結果

調査点	位置		水温℃					漁獲尾数				揚網
	緯度E	経度N	0m	10m	20m	30m	50m	サバ類	マイワシ	カタクチイワシ	サンマ	月日
St. 1	41-32	144-31	7.8	7.9	7.4	5.0	3.0	0	0	0	0	2017/5/30
St. 3	41-04	145-22	10.6	9.1	4.8	3.9	2.6	169	3,196	0	0	2017/5/31
St. 5	41-25	146-02	10.6	9.2	6.3	1.8	2.6	279	5,582	0	2	2017/6/1
							魚種計	448	8,778	0	2	

※マサバ，ゴマサバ区別せずに，サバ類として扱っています

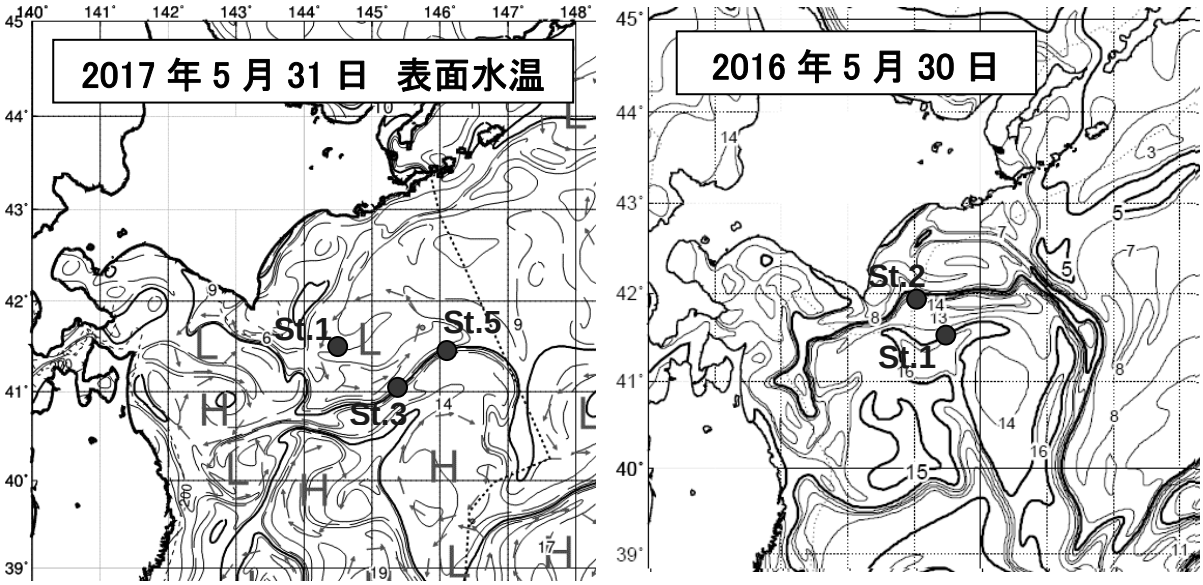

図 1　2017 年および 2016 年のマサバ・マイワシ漁場調査における調査点
（水温図は，漁業情報サービスセンター発行の水温図を改変）

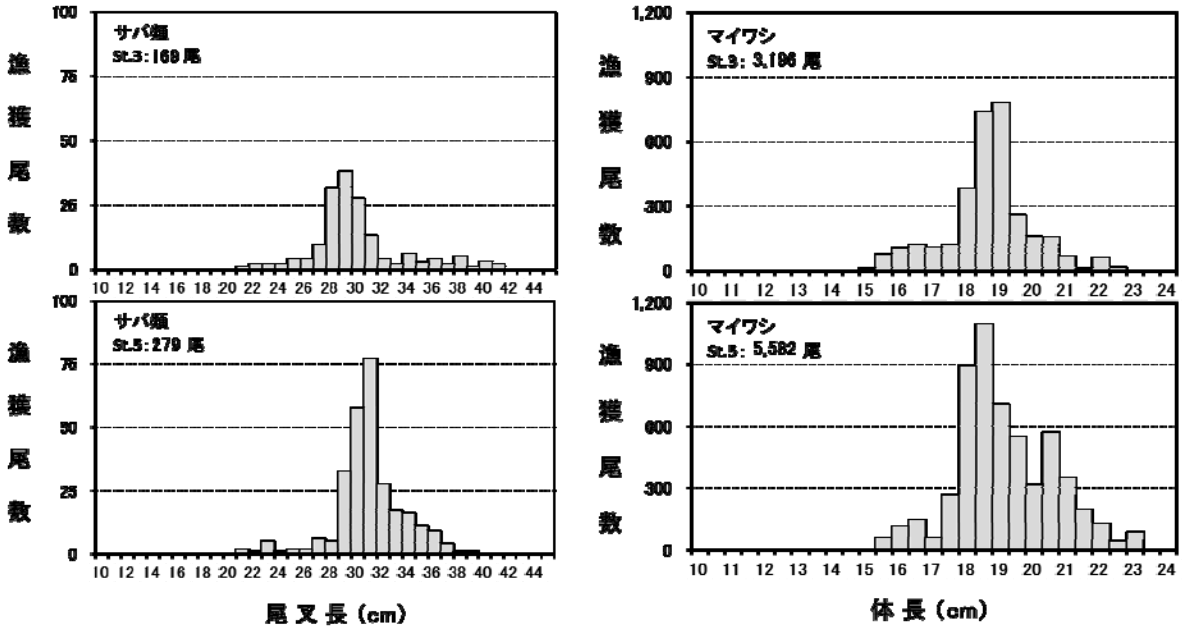

図 2　2017 年マサバ・マイワシ漁場調査における漁獲物の体長組成

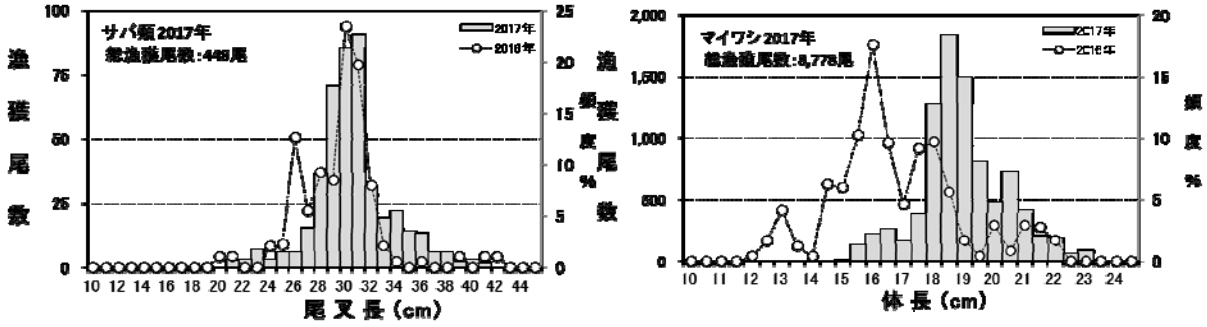

図 3 サバ類およびマイワシの体長組成の昨年との比較

（釧路水産試験場調査研究部，TEL:0154-23-6222，FAX:0154-23-6225）